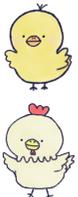


接続詞の種類

① 順接



前の内容が原因・理由となり
後に結果や結論がくる。

だから、すると
それで、そこで、したがって

など

② 逆接



前の内容と対立するような
ことが後にくる。

しかし、ところが、でも
けれど、だが、けれども

など

③ 並列・添加



前の内容とを対等のことを
後ろに並べる。

また、そして、それから
そのうえ、しかも、さらに

など

④ 対比・選択



前のことがらと後のことがらの
どちらかを比べたり選んだりする。

それとも、あるいは
または、もしくは、

など

⑤ 説明・理由・例示・補足

前の内容の説明や理由、例や補足を
あらわす。

なぜなら、つまり、
たとえば、ただし

など

⑥ 転換



話題を変えてあとの事柄に
続ける。

さて、ところで
では、それでは

など

次の□に入る接続詞を選んでみましょう

予定よりも早く家をでた。

間に合わなかった。

雨が激しくふってきた。

風もふいてきた。

数学の勉強をしようか。

英語にしようか迷う。

とてもつかれている。

疲労困憊ということだ。

納豆は体に良い。

食べ過ぎると健康によくない。

いっしょうけんめい勉強をした。

成績があがった。

家についた。

夕ご飯の準備にとりかかろう。

さて そのうえ けれども ただし
もしくは つまり すると